

# 古きを温め、新しきを知る

## 片桐英数塾通信

全統模試実施校  
坂本教室 OFFICE  
TEL 24-1337  
FAX 82-6185  
天神教室  
TEL 23-1899  
E-mail  
info@katagirijuku.com

### まずは古きを知らねば始まらぬ

この国において、始まりというものは四月と相場決まっています。どうやらそれは国際的なものではなく、この国、特有のものなのだそうです。学校の年度だって当たり前のように四月に始まります。だから、私たちも「片桐英数塾」の始まりは四月にしたかった……。ですが、なかなか当塾坂本教室、修繕箇所が多く、「え？ 四月。ムリムリ」と業者の方に言われ、二〇〇六年の六月にスタートすることになったのでした。さて、ということとは？？？ 驚くことに、当塾もこの六月で十三年を超え、十四年目に突入したということであって、さらにこの「片桐英数塾通信」に関しては、二〇〇六年七月号から書き始めたので、今号で、九十三年を終了する節目の号となる一五六号に当たるわけです。などとしみじみと思いを噛みしめながら原稿を「書いています」。

「書いています」？「書いています」と書きましたが、正確にはペンで書くのではなく、今はパソコンにキーボードでローマ字変換入力をしていきます。わざわざこんな説明を書かなくても当たり前のことですよ。ですが、このところ、この塾通信を書くのに、キーボードで入力することも徐々に少なくなってきたいます。何もキーボードで入力しなくても、文字にできるからです。（文字にできるというところとややこしいので「テキスト」と表現します。）

さて、どうやってこの塾通信を書くのにキーボードで入力せずにテキストに変換しているかというと、スマホに向かってしゃべっているのです。音声認識機能で声がテキストデータになります。「なんでそんな誰でも知っていることをわざわざ書くの？」と思う高校生も多いかと思いますが、少なくとも十年前にはこんなことできなかったのです。それに、どうしても紙媒体の文字をテキストに落としたい時、昔は紙に書かれた文字を見ながら、高速でブラインドタッチでキーボードをたたき入力していました。ですが、最近はスマホでその紙の文字を撮影し、PCからその画像を呼び出し、専用のアプリでOCR変換すると、ほぼほぼ完璧にテキストデータが抜き出せます。新聞の記事もほぼ一瞬でテキストデータ

タに変わってしまします。毎月、塾通信を書く身にとっては、とてもありがたいことです。資料をテキスト化しておけば、いつでも検索をかけられるし、すぐさま引用できるからです。本当に科学技術の進歩というものはありがたいものです。科学技術の進化と書いて、はつと思ひ出したことがあるのですが、それはわたしの個人的な趣味のことなので、書くことがどうしようかと迷いましたが、そのことを書きま

す。私の数少ない趣味に写真があります。「シャッターを押せばその一瞬が永遠に残る」というのが魅力的で、高校生の頃から今の今までずっと写真を撮ることが好きです。好きなのでよく写真を撮るのですが、撮った写真を後で見ると、ちゃんと撮れたと思ってもピンボケしていたりするもので、「カメラは難しい」という気持ちがいつもどこかにありました。昨年、カメラから「瞳AF（オートフォーカス）」を搭載した安いカメラが世に現れました。人を撮る時ももうそうですし動物を撮る時もそうなのですが、最も大切なのは瞳にピントが合っていることです。なんと瞳にドンピシャでピントを合わせた。しかし、人も動物も生きていますので動きます。

動いていると合わせられませんか？ピントが合いません。動いている人や動物の瞳にマニュアルフォーカス（手動）でピントを合わせ続けるのは神業に近いと思います。AF（オートフォーカス）の優れたカメラでも一度目にピントを合わせてから構図を整えるまでのタイムラグでピントが狂ってしまうことが多くあります。しかし、先ほどの「瞳AF」というものは、カメラが瞳だけを感知しピントを合わせ続けます。なぜ機械がそんなに正確に瞳を瞬時に見つけられるのか。驚くべき速さで瞳だけを追い続けます。被写体がうつむいたりして瞳が見えなくなっても、瞳の位置にピントを合わせ続けます。「瞳AF」のおかげで、ピントはカメラに完全に任せ、人間は構図を決めてカメラのアンクルを固定させシャッターを押すだけで良いということになります。この技術は何を意味するのだろう……。それまではプロ、もしくは熟練者の領域だったそのような写真が、カメラを始めたるばかりの初心者にも簡単に撮れることを意味しているのではないのでしょうか。上級者、熟練者と相違ないことが誰にでも簡単にできてしまう。これが科学技術の発展の最大の恩恵なのだろうなあ、と思っています。しかし、初心者がこうも簡単に熟練者と同じことができるのなら、自分の技術を熟練させる必要性を感じなくなってしまうのではないのでしょうか。

テキスト変換であれ、瞳AFであれ、それらはわたしの身近にある例です。他にも山のようにそのような例は枚挙にいとまがありません。それらのどれにも共通して言えることがあるように考えています。

紀元前三七〇年にソクラテスは、「書くことによって記憶が減びる」と言ったそうですが、科学技術の進化とともに知らず知らずのうちに人間の大切な能力が退化しているのではないのでしょうか。カメラの例ではピントを合わせる程度のことなので、そう大袈裟なことでもないのですが、人間の大切な能力に記憶力であるとか、判断力であるとか、計算力であるとか、他にも大切な力があると思うのですが、科学技術の進化によって便利になっていくにつれ、それらの力が人間から奪われていくとすれば、便利になったと喜んでばかりもいられないように思います。

「A」に任せられるものは任せてしまえば人間は創造的（クリエイティブ）な仕事をするべきだ、というようなことが言われていますが、本当にそうでしょうか？人間の大切な力を退化させながら創造的（クリエイティブ）な仕事などできるのでしょうか？私はこの点に疑問を感じています。

最新の技術により様々なものが便利で効率的になる一方で、昔ながらのやり方を大切にすることが大切なのではないのでしょうか。温故知新。これがこれからの時代のキーワードだと一人納得しています。

私自身もうかうかしてはいられません。「まずは古きを温める前に古きを知らねば話にならぬ」と自分なりに思うところがあり、今、わたしはなぜだかD・V・Iに目覚めつつあります。

### 映像授業で万全の入試対策を！

#### 本科講座〈レベル別対策〉〈センター対策〉〈大学別対策〉

単なる断片的知識の積み重ねでは大学入試には太刀打ちできません。「なぜそうなるのか」といった本質的理解が求められているからです。本科講座では、講義と演習を通じて、本質を見抜く力を養成していきます。早目のセンター対策、二次・私大対策、共通テスト対策を！！

#### 実戦入試対策講座〈国公立二次対策〉〈私大入試対策〉

これまで培った実力を、短時間で得点力アップに直結させるのが実戦入試対策講座です。特に受験生がつまづきやすい項目、志望校別の出題傾向、可否を分けるポイントを絞ってコンパクトに解説していきます。入試で戦える実戦力につなげていこう！大学別特講は本番で役に立つ！

#### 単科講座〈テーマ別攻略〉〈単元別攻略〉〈スーパーモジュール〉

補強したい弱点や、もっと強化したい分野がはっきりと見えてきた、あるいは特定の単元を短時間で鍛え上げたい—こういう場合におすすめなのが単科講座です。各教科の内容を適正に細分化。本当に必要な内容をピンポイントで学習できるようになっています。効率よく弱点を克服。入試の頻出単元をバッチリ補強することができます。早期に苦手を克服せよ！！

受講相談随時受付中！

### 片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の6月のお休みは、  
2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

塾生の皆さんでLINE登録がまだの方は、こちらのQRコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などLINEでいつでも受け付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

